

2016年7月30日

ほしざらサロン 6月議事録

文責：山本親弘

日 時：2016年6月25日（土）

19:00～22:00

場 所：プラネタリウム事務所

参加者：高尾、立石、砂田、松井、山田（明）

（50音順、敬称略）

職 員：小野田、平野、角田、山本

（計9名）

18:00～19:00に、七夕の笹の飾り付けとプラネタリウムの来場者に書いてもらう短冊の用意をしました。

1. 7月16日（土）ほしざら友の会「月の観察」

7月に行われるほしざら友の会「月の観察」について、職員の角田から当日の説明がありました。

この日は普段と時間が異なり、18:30から20:30までとなっています。前回の友の会で製作した望遠鏡を使い、外に出て月を観察します。当日が雨天もしくは曇天時には20日（水）の同じ時刻に延期となります。前回の友の会でピント合わせの説明はしていますが、実際に外に出てのピント合わせをこのとき行うので、スタッフの方達に手伝っていただけますということでした。

2. 8月27日（土）ほしざらウォッキング「夏の星空・火星・土星」について

8月27日に行われるほしざらウォッキング「夏の星空・火星・土星」について、おもに使用する機材などを話し合っていきました。リーダーは未定となっています。

【決定事項】

➤ 当日の予定

19:30～20:00 プラネタリウムでの解説

20:00～21:00 観望会（場所：アクアドーム前）

➤ 使用機材

- ◆ 望遠鏡をそれぞれ火星、土星、アンタレスに固定して行う。(例えば火星はタカハシで、土星はビクセンで、アンタレスは対空双眼鏡を使うなど。)
- ◆ スタッフが多く参加になれば、それぞれで望遠鏡の台数を増やすことができるが、現状では未定。

➤ その他

- ◆ 灯明をアクアドーム前の橋に置く。
- ◆ リーダー未定。募集中です。
- ◆ プラネでの解説はライブ班のスタッフに打診中。無理そうであれば、石田さんが行う予定。

【会話録】

<使用する機材などについて>

角田

観望対象は、火星、土星、アンタレス。プラネタリウムでの解説は、現在ライブ班のスタッフに呼びかけてはいるが、誰もいない場合は石田さんがしてください（未定）かもという状態。

このときまでに、新しいタカハシ望遠鏡を購入し、最大でタカハシ屈折望遠鏡3台という体制を整えたい。

高尾

全部で使う望遠鏡は5台ぐらい？

角田

タカハシが3台、ビクセンが屈折望遠鏡3台、反射望遠鏡が1台、カセグレン1台とあるが、結局はスタッフが何人来てくれるか。

ちなみに、前年8月ウォッチング来場者数は180人、前々年は124人となっている。8月のウォッチングは来場者が多く見込まれるので、スタッフが多く来て頂けると、火星にタカハシ、土星にビクセン、アンタレスは対空双眼鏡をそれぞれ使うこともできる。

高尾

8月のウォッチングまでもう一度サロンを挟む。

角田

なので、(当日参加してくれるよう) しっかりと声かけをしていきたい。

角田

(望遠鏡、双眼鏡の他に、去年スタッフが製作した)竹や牛乳パックで作った灯明があるので、出しても良いかもしない。

高尾

置く場所は？

角田

アクアドームに渡る橋のところに置いてはどうか。

<観望対象などについて>

高尾

見るもの（観望対象）は色々と変えるのか？

角田

3台出せれば火星、土星、アンタレスそれぞれ望遠鏡を固定できる。望遠鏡は固定するほうが良いのではないか。

山田

土星の環は今だいぶん開いており、見応えがある。

松井

土星は一番こどもたちに人気がある。

砂田

カッシーニの環がきれいに見えるらしい。

3. 9月17日（土）ほしざらウォッチング「中秋の名月」について

ほしざらウォッチング「中秋の名月」はスタンプカード¹の最終日となっているので、そのときの認定証や景品を渡すかどうか、またスクリーン²を改良するかどうかなどを話し合いました。また、次回のサロンでも話し合っていきます。

【決定事項】

➤ 当日の予定

19:30~21:00 観望会（場所：風の丘）

【会話録】

角田

¹ 一年間のうち5回行われるほしざらウォッチングに行くとスタンプが押せて、貯めると景品や認定証がもらえる仕組みです。

² 「中秋の名月」のウォッチングは毎年リアルタイムで月の映像をスクリーンに投影しています。風の丘の柱にシートをくくりつけるようなかたちでスクリーンとして使っていますが、風が吹くと見にくい、柱にくくつけることが手間がかかる、など数々の問題点があります。

スクリーンをどうするか。今まで使っていた布を利用して改善していくか、もしくはちゃんとした折りたたみのスクリーンを購入するか

山田

(どうしてもサイズが大きくなるので) 雨が降ったときすぐには対応できない。
雨に濡れても良い(コストがあまりかかっていない)ものとしては今使用している布である。

角田

スタンプカードの最終日となっている。認定証について去年は、

金賞：名前を書いた認定証をラミネート加工

銀賞：名前を書かずに認定証をラミネート加工

銅賞：名前もラミネート加工も無し

となっていたが、今年はどうするか。

平野

今までのサロンの話し合いでは、認定証は用意するが、認定証に名前を書く作業や景品を渡すのは無しでも良いのではないかという案が出ていた。

4. 合宿について

今年の合宿について、日程は場所について職員の角田から説明がありました。

【決定事項】

➤ 日程

2016年10月1日～2日

➤ 場所

清和高原天文台

➤ 費用

宿泊費無料(MYP負担)、交通費は実費

【会話録】

角田

今年の合宿は10月1日から2日にかけて、毎年行っている清和高原天文台で行います。

山田

(地震の影響など)施設は大丈夫なのか?

角田

夏休みを目処に望遠鏡は復旧予定となっているそう。ロッジやレストランは大丈夫で、清和高原までの道のりは、少し迂回路を通らなければならないので、いつもより時間がかかることを考えておかなければならない。

山田

来年の夏は星野村に行きたい。

5. クリスマス時期の活動について

クリスマス時期の活動について、前回のサロンに引き続き、今年は何をしていくか話し合いを行いました。

【決定事項】

クリスマスの活動は掲示板にトピックスを作成して、スタッフに呼びかけを行う。

【会話録】

角田

今年のクリスマスはどうするか。

松井

何か作りたい気持ちはある。

高尾

紙芝居だけは寂しいような気もするが、番組作りをするとすれば脚本が難しい。

角田

もし何か作るとすれば、7月から8月、次回のサロンあたりまでには決めておかなければならぬ。

また、去年のように缶バッジの製作などもあるが、ガチャガチャの機械を買って、その収益をボランティアスタッフの活動費にあてるというようなことも考えることができる。

6. 冬の時期の観望会について

冬の時期の観望会を行うのか、行わないのか。行うのであれば、日程はいつにするか、などを話し合いました。

【決定事項】

今回のサロンでは冬の時期の観望会の候補日は1月28日となっています。

【会話録】

角田

(冬の時期の観望会を) やるのであれば、9月のはしごらウォッチング（今年の最終ウォッチング）には案内をしたい。また、何を来場者に見せたいかでいろいろと時期が決まつてくると思う。今までのサロンでは、すばるなどが挙がっていた。

松井

クリスマス時期の活動の一環として、クリスマス観望会を行ってみるのはどうか。

「プロキオンと星を見てみよう」というイメージで。

山田

夕方、金星などで観望対象になりそうなものはあるか。

角田

今年のようにスタンプカード第一回を3月にするのもいいかもしれない。

また、2017年の2月上旬は、月と火星と金星と一緒に見ることが出来る。火星は1.1等級、金星は-4.6等級。すばるも同時に見られる。

7. 今後の活動予定について（出前講座・出張観望会）

- 7月16日（土） (18:30~20:30) ほしごら友の会「月の観察」
- 7月21日（木） (12:00~16:00) 日時計工作古賀市清掃センター（エコロの森）
- 7月24日（日） (19:30~21:00) 出張観望会 宗像ユリックス（水原公民館）
- 7月31日（日） (18:00~21:00) 出張観望会 岡垣サンリーアイ（岡垣図書館）

- 8月7日（日） (18:00~21:00) 出張観望会 宗像ユリックス（古賀ボイスカウト）
- 8月19日（金） (18:00~21:00) 出張観望会 ふれあいの森（宗像市夏の課外授業）→雨天・曇天時は8/26に順延
- 10月7日（金） (18:00~21:00) 出張観望会 宗像ユリックス（宮若市山口小）
- 10月9日（日） (18:00~21:00) 出張観望会 日の里西小（日の里コミュニティ）→雨天・曇天時は10/23に順延

次回の「ほしごらサロン」は、7月30日（土）です。